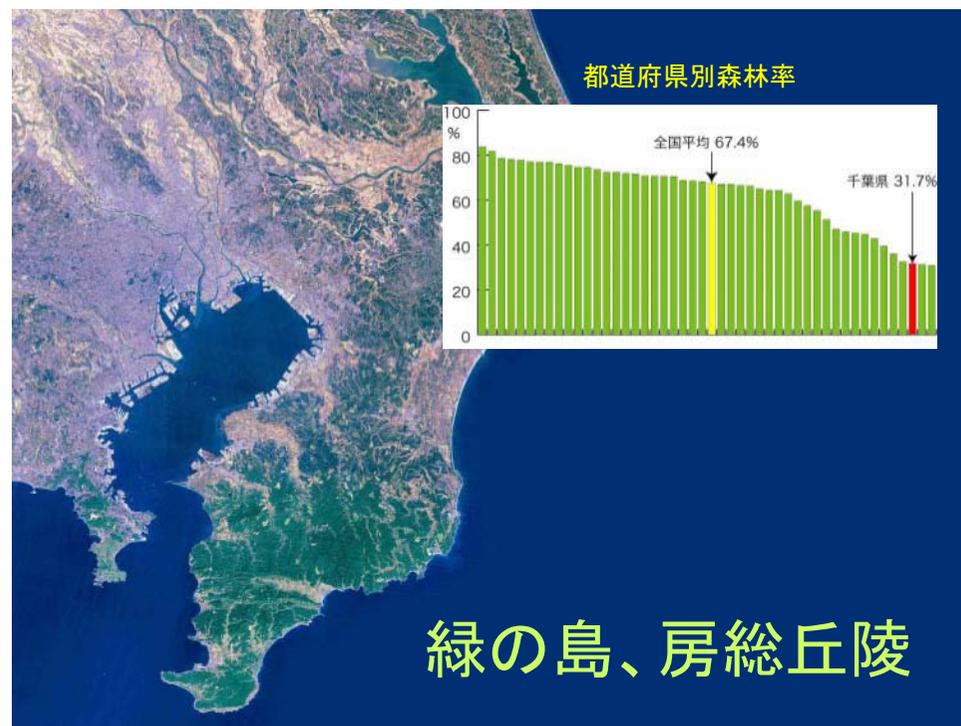
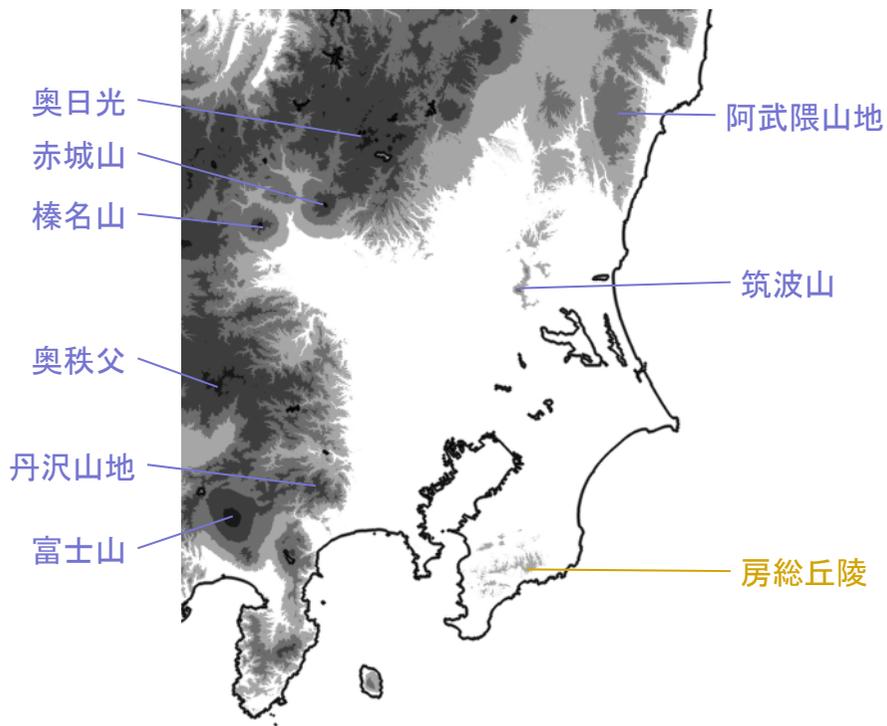


千葉県立中央博物館
房総の山のフィールド・ミュージアム



ニホンジカ

Cervus nippon
偶蹄目 シカ科



出典：千葉県環境土地建設局環境課・環境のシカ調査会（2002）千葉県環境庁管内におけるニホンジカの保護管理に関する調査報告書（10）

千葉県に分布しない生物

植物	動物
ブナ	ツキノワグマ
ミズナラ	ニホンカモシカ
サワグルミ	ムササビ
サワシバ	タカチホヘビ
.....	ギフチョウ
	ガロアムシ

6

分布北限(太平洋岸)の生物

植物	動物
イチイガシ	ヒメハルゼミ
ホルトノキ	ルーミスシジミ
バリバリノキ	クチキコオロギ
バクチノキ	トゲナナフシ
シャシャンボ	オオズアカアリ
サツマイナモリ	オオゲジ
.....

7

遺存する山地帯の生物

植物	動物
ヒメコマツ	オオトラカミキリ
ヒカゲツツジ	ミヤマリリハナカミキリ
イヌブナ	トゲフタオタマムシ
カツラ	クチキクシヒゲムシ
アサダ	ゴホンダイコクコガネ
オオウラジロノキ	ウラキンシジミ
.....

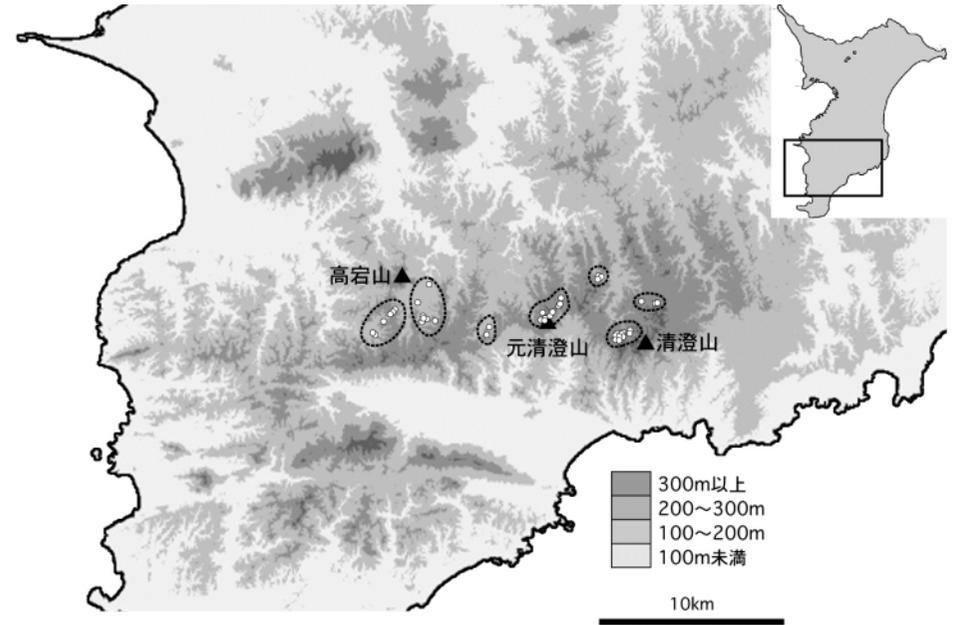
8



ヒメコマツ (マツ科) *Pinus parviflora*
 長さ 3 ~ 4cm の葉が 5 本ずつ束になる
 ゴヨウマツともいう



アカマツ (マツ科) *Pinus densiflora*
 長さ 10cm 前後の葉が 2 本ずつ束になる



県立博物館ネットワーク

5館、8施設+1

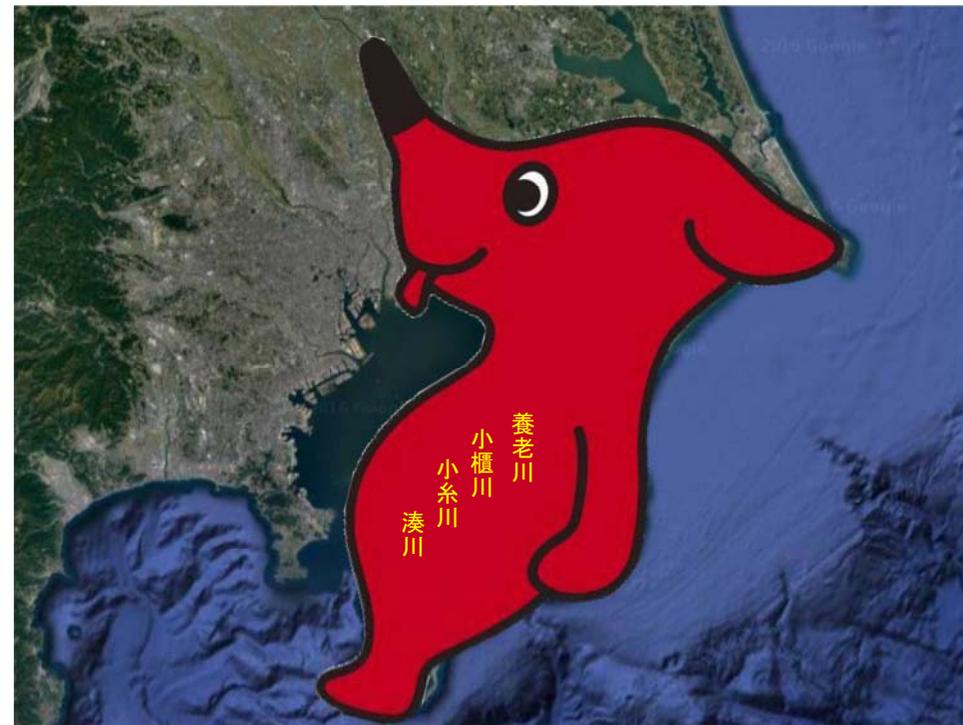
房総の山のフィールド・ミュージアム

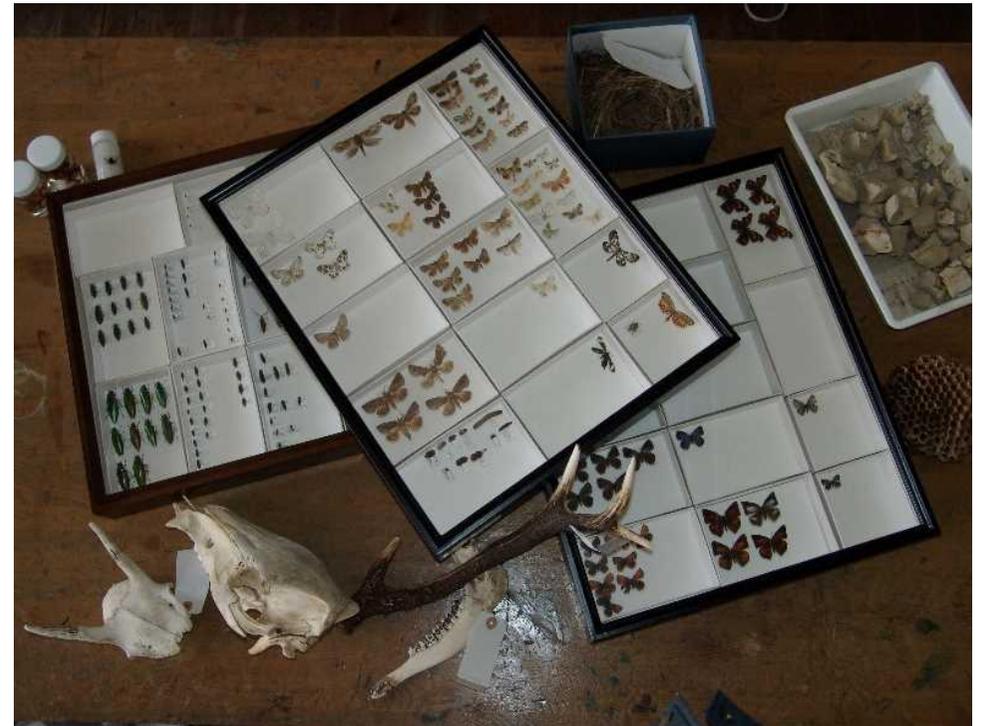
- ・房総の山の自然・文化を守り育む
- ・フィールドの自然・文化すべてを資料と考える
- ・地域の人々やNPOと連携・協働する
- ・平成15年4月に活動開始

房総の山のフィールド・ミュージアムの おもな活動内容

1. 三島小教室博物館(資料収集)
2. 房総丘陵の自然誌・人類誌(調査研究)
3. 山みち展示、出張展示(展示)
4. 観察会「山の学校」(教育普及)
5. おばあちゃんの畑(総合的事業)

三島小教室博物館





重点研究:房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性

- 2012～2014年に集中的に昆虫相調査
- 現在、成果のとりまとめ中
- コウチュウ目:千葉県初記録が155種
- カメムシ目:「地域絶滅種」の再発見2種

千葉) 「幻のカメムシ」再発見 「絶滅」指定、見直しへ

渡辺延志 2014年5月8日03時00分

印刷 | メール | スクラップ



清澄山で再発見されたアダチアカサシガメ。赤と黒の模様が特徴だ=県立中央博提供

房総丘陵で最初に発見されながら、その後県内ではまったく姿を見せず「幻のカメムシ」とされてきたアダチアカサシガメが、鴨川、君津両市にまたがる清澄山系に生息していることが県立中央博物館の研究員の調査で確認された。県は「絶滅生物」としているレッドデータブックの指定を変更する検討を始めた。

アダチアカサシガメは体長約1センチで、鮮やかな赤と黒の模様が特徴だ。清澄山で1954年に採取された標本をもと

に、68年に新種として認定された。

絶滅種現在の1.5倍 世界最大の「トド」化石 体長5メートル、体重3トンか 県立中央博24日まで展示

ツイート 0 | いいね 0 | +1 0 | おすすめ 0

2012年12月08日 15:00

千葉県立中央博物館（千葉市中央区）は7日、トドの仲間と考えられる巨大な雄の個体の、下あごの化石を発見したと発表した。サイズは、現在のトドの雄と比較して約1.5倍あり、発見された化石としては世界最大の体長と推定される。約90万年前の化石で、絶滅種と考えられる。同館は24日まで、化石を特別展示する。

同館によると、化石は今年5月10日、調査活動を行っていた同館の大木淳一主任席研究員（46）が、市原市朝生原の梅ヶ瀬溪谷の河原に落ちているのを発見した。川沿いの地層が雨風で削られ化石が落下し、河原に運ばれたとみられる。

発見されたのは下あごの骨の先端部分で縦約10センチ、横約13センチ、厚み約6センチ。重さは約710グラム。同館は、国立科学博物館の甲能直樹博士に骨の調査を依頼。歯の大きさ、歯の根元の穴の数、下あごの厚み、血管、神経の位置などから、トドの仲間と判断された。



発見した化石を紹介する大木さん=7日、千葉市中央区の県立中央博物館

自然観察路「山みち展示」

房総の山のフィールド・ミュージアム
自然観察路 案内図

県立中央博物館がおすすめする自然観察コースです。途中には野々の自然や民家の風景を紹介する「ポイント解説」が載っています。

標準的な所要時間は約90分です。（状況によって変わります。）

展示所 → (25分) → ① → (登りの5分) → ② → (15分) → ③ → (4分) → ④ → (4分) → ⑤ → (降り30分) → ⑥ → (車道30分) → 展示所

※多く道の注意※

- ・自分のペースでゆっくり歩きましょう。
- ・歩きやすい服装を歩きましょう。
- ・水分補給を忘れずに！
- ・ハチや毒へどを刺されるのには注意しましょう。

● 自然観察路（山道）
 ● 自然観察路（車道）
 ● 山道（自然観察路以外）
 ● 車道（自然観察路以外）

① 案内書見せ板（下写真）
 P 駐車場
 W トイレ
 傘 傘置場
 現在地

100m

房総山のフィールド・ミュージアムは県立中央博物館の事業です。内容に関するお問い合わせは、下記へお願いします。
 〒260-8602 千葉県中央防災教育センター 千葉県立中央博物館 電話 043-1260-3111 FAX 043-1260-2481



出張展示(公民館)



出張展示(演習林)

山の学校(観察会)

- 4月～9月の毎月第3土曜日
- 清和県民の森、三島小周辺で開催
- H28年9月で通算132回
- その他にもさまざまな観察会を実施



観察会「山の学校」



川の生きもの



夏の山の昆虫



泥だんごで学ぶ地質学



小櫃川をのぼる

おばあちゃんの畑プロジェクトについて

★地域に残る在来作物の種を集め、農業が機械化される以前の 방법으로作物を栽培・加工し、その農業技術や加工技術の継承・記録する試み

★2008年から開始

★種子も資料(遺産)であり、自家採種の技術や栽培技術、加工し食品にする技術も無形の資料(遺産)であり、背後にある儀礼なども無形の資料(遺産)「取得・保存・研究・交流・展示」するのが「おばあちゃんの畑」プロジェクト



バカイモと呼ばれるサイイモの種芋



味噌作り



在来作物



ヤエナリ(緑豆) 八重に稔る



地元でシロッカボチャと呼ばれるニホンカボチャ



ゴマの収穫作業 茎ごと乾燥させる

在来作物

★マナ（真菜）・オカンナ



正月に食べる雑煮の材料として使われ、大切な葉っ葉として意識されている。

11月3日頃に種子をまき、正月に長さ5センチほどに生長したものを使う。

★コムギ



お盆の迎え火、送り火にコムギの藁を使う

コムギ藁は燃やすとパチパチと音をたてるが、稲藁は音がしないので物足りないという

在来作物

★ヒユ（苧 ヒョウ）



祖霊に供える食物

畑に落ちたタネが翌年芽を出す半栽培とでもいうべき事例

★マナ、コムギ、ヒユの3つの作物はいずれも、地域の年中行事と結びついて保存（伝承）されてきたものである。作物の多様性の保全と行事の伝承とは強い結びつきがある

作物の栽培と継承



公民館の親子教室で稲刈り



在来のコムギでピザを作る。
公民館の親子教室にて



都会の若者とおばあちゃん



サルトリイバラを使った
まんじゅう

「おばあちゃんの畑」食品加工所の活動



★博物館の活動から生まれた、地元素材に徹底的にこだわったお菓子
ブランクッキーと季節のカップケーキ

おわり